

**【腹部領域ヘルニアについての後方視的臨床研究】のため、
当院に入院・通院されていた患者さんの
診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い**

実務責任者 所属 外科
氏名 亀山 哲章

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、上記実務責任者までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

2024年3月31日までの間に、一般・消化器外科にて腹部領域ヘルニアの診断または治療のために入院・通院し、診療を受けた方

2 研究課題名

腹部領域ヘルニアについての後方視的臨床研究

3 研究実施機関

国家公務員共済組合連合会 立川病院 外科

4 本研究の意義、目的、方法

ヘルニアとは、臓器の一部が領域を越えて脱出してしまう病態のことを言います。鼠径ヘルニアなどにだい表される腹部領域のヘルニアでは、腹腔内容物（腸管や脂肪）が、腹壁に生じた（または生来有する）欠損部（脆弱となった部分）を通じて飛び出す状態のことで、いわゆる脱腸です。根治するには原則的に手術が必要な病気であり、一般的に手術加療が広く行われています。これまでも、手術された症例についての情報蓄積によって技術・戦略ともに発展してきましたが、まだまだ向上する余地がある分野です。今後も研究によって、さらなる治療法の開発・向上が求められています。そのため我々は、過去に治療された患者様の情報を集め、統計学的に検証を行うことを目的としております。

5 協力をお願いする内容

過去に治療された患者様の診療録・画像データを閲覧し、データを集積した後に解析を行います。患者さんの診療録のみを使用させていただくため、患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。

6 本研究の実施期間

倫理委員会承認後 ～ 2024年3月31日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に【または倫理委員会に承認された破棄時点で】完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

本試験の実務担当医師：亀山 哲章（国家公務員共済組合連合会 立川病院 外科）
連絡先：住所：〒190-8531 東京都立川市錦町4-2-22
電話：042-523-3131（平日9:00～17:00）

※担当医師または一般・消化器外科の医師を呼び出してください。

以上